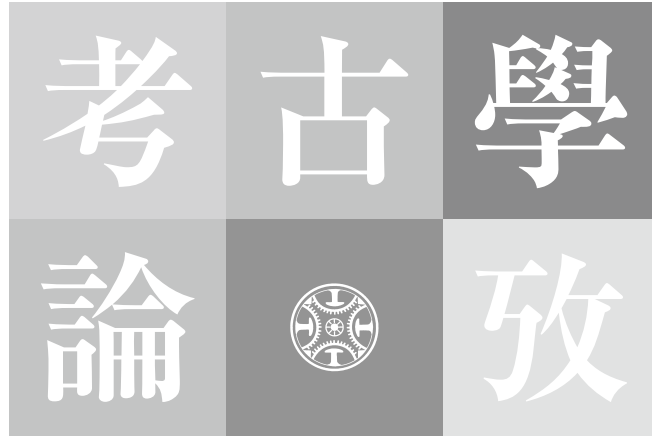


橿原考古学研究所紀要



—— 第 4 5 冊 ——
2022

序

橿原考古学研究所は昭和13年9月13日、橿原遺跡の発掘調査を契機に末永雅雄初代所長によって創立され、来年には85周年を迎えます。創立以来、幾多の遺跡発掘調査を手がけ、考古学という手法で人類の過去の営為を解明し、より具体的かつ明確な歴史像を構築するため日々研究を進めてきました。

橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』は、所員の研究成果発表の場として昭和26年に創刊され、これまでに学界を牽引する多くの論考が発表されてきました。この研究の積み上げこそが、今の橿原考古学研究所の力の源泉となっています。本冊で第45冊となりました。

今回は6本の論考を収録しました。1本目は、日本古代溜池の利用形態について論じたものです。古代社会の解明において不可欠な灌漑に関する重要な基礎研究です。2本目は、中国で新石器時代にはじまる瓦の成立背景や普及について論じたものです。日本ではじめて瓦がつくられた地、奈良県には不可欠な知識といえます。続く4本は、過去に橿原考古学研究所が調査した遺構や出土品等を現在の視点から再検討し、新たな知見を加えたものです。こうした継続的な調査と研究も、より充実した歴史像構築のため、おろそかに出来ません。

未だ新型コロナウイルス感染症の影響が続き、先の見えない状況ですが、それに屈することなく私たちは調査と研究を一層進めていきたいと思えます。

令和4年3月18日

奈良県立橿原考古学研究所
所長 青柳正規

目 次

序

青柳正規

- 古代溜池の水源について 北山峰生 ... 1
- 中国における最古級の瓦とその分布について 齊藤 希 ... 11
- 中西遺跡・秋津遺跡の弥生時代前期水田遺構の変遷とその特質 岡田憲一 金原正明 ... 21
- ヒシャゲ古墳の周庭帯と埴輪 小栗明彦 東影 悠 ... 39
- 三ツ塚古墳群出土漆塗り革袋のX線C T調査 卜部行弘 鳥越俊行 奥山誠義 ... 57
- 興福寺跡出土将棋駒の樹種 鈴木一議 福田さよ子 清水康二 小栗明彦 ... 73

奈良県立橿原考古学研究所紀要

考古学論攷 第45冊

令和4年3月18日 発行

発行 奈良県立橿原考古学研究所

奈良県橿原市畝傍町1番地

印刷 株式会社明新社

奈良県奈良市南京終町3丁目464

ISSN 0287-9271
